

日本社会情報学会通信

Vol.22 No.2 2007.4.1

日本社会情報学会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408

TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

E-mail jasi@jade.dti.ne.jp

U R L <http://www.soc.nii.ac.jp/jasi/>

* 本学会通信の掲載内容は、HPに掲載

日本社会情報学会・理事選挙に関する公示

日本社会情報学会理事選挙管理委員会
委員長 須藤 修

本学会は、本学会理事選挙規則ならびに、平成 19 年度理事選挙実施要綱（平成 18 年 11 月 13 日理事会決定）にもとづき、本年 4 月 1 日より同 7 月末日までの間、下記により理事選挙を実施します。

本学会会員有資格者は、この公示にもとづき、全員、遺漏なく選挙に参加されるようお願い致します。

なお、この選挙結果については、本年 7 月末日発行の本学会通信 Vol.22 No.3 に掲載し、かつ本年 9 月 8 日開催の会員総会に報告されます。

[記]

1. 理事選挙により選出される理事は、理事選挙規則にもとづき 25 名とし、本年 6 月 1 日より同 6 月 20 日（同日消印有効）までの間、投票者各 1 名 1 票、無記名 10 名連記の郵送により選出する。
2. この投票を行う投票権者は、平成 19 年 3 月 31 日現在、日本社会情報学会の正会員（過年度の会費を 2 月末日までに滞納しているものを除く）であるものとし、個人会員については本人、団体会員については 1 団体につきその代表者とする。
3. この投票に関する投票要領ならびに投票用紙等の選挙書類一式は、投票開始日までに投票該当者まで郵送する。
4. 前項の投票の対象者となる理事候補者は、個人会員または各団体会員 1 名の登録代表者で、理事候補者として立候補した者、ならびに理事候補者推薦投票にもとづき理事会が選出した推薦候補者とする。したがって、理事候補者として立候補を希望する会員は、本年 5 月 1 日から 20 日までの間、当管理委員会に申し出られたく、その事務手続きについては、本学会事務局に問い合わせられたい。

推薦候補者は、本年 5 月 1 日から 20 日までの間に実施する、理事ならびに評議員による 1 名 1 票、無記名 5 名連記の郵送による推薦投票にもとづき選出する。

なお、この理事選挙に関する、問い合わせ・連絡は次の通りとする。

日本社会情報学会理事選挙管理委員会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4-408 TEL 0422-40-2062 FAX 0422-40-2062

[平成 19 年度・理事選出実施要綱]

(平成 18 年 11 月 13 日開催理事会承認)

(目的)

第 1 この要綱は、日本社会情報学会理事選出規則(以下、規則という)にもとづく平成 19 年度理事選出の実施につき必要な事項について定める。

(選出する理事の定数)

第 2 選出する理事の定数は、規則第 3 条の規定にもとづく選挙による理事 25 名、規則第 6 条にもとづく会長の推薦による理事 25 名以内とする。

(選挙の公示)

第 3 前項に規定する選挙(以下、選挙という)の実施に関する公示は、平成 19 年 4 月 1 日とし、会員に対する周知は、同日迄に発行する学会通信をもって行う。

(選挙管理委員会)

第 4 選挙の公正な実施のため、選挙管理委員会(以下、委員会という)を置く。
委員会の構成は 5 名とし、委員長 1 名、委員 4 名の選出は平成 19 年 1 月 22 日開催の理事会で行う。

(選挙人)

第 5 選挙で投票を行う選挙人は、平成 19 年 2 月末日迄に、過年度の会費を完納した正会員とし、個人会員については 1 人 1 票、団体会員については 1 団体につきその代表者 1 票とする。

団体会員は、投票を行う代表者の所属・氏名を、平成 19 年 2 月末日迄に委員会に届出、登録するものとする。

委員会は、平成 19 年 3 月末日迄に選挙人を確定し、それにもとづき選挙人名簿を作成して学会事務局に常備し、会員の閲覧に供するものとする。

(被選挙人)

第 6 選挙における被選挙人は、規則第 4 条にもとづき、次のいずれかに該当する正会員で、かつ第 5 に規定する選挙人の資格を有するものとする。

(1) 理事会に設置する推薦委員会で推薦されたもの。

(2) 自薦による立候補者。

(被選挙人の推薦)

第 7 前項(1)による推薦にあたって、推薦委員会は、次の要領による理事候補者推薦投票を実施し、これにもとづき推薦候補者を決定するものとする。

(1) 推薦投票の投票権者は、平成 19 年 3 月 31 日現在の理事ならび評議員とし、1 人 1 票無記名 5 名連記の投票により行い、得票数順位により 40 名を選出する。

但し、同一得票者があった場合には、候補者数が 40 名を越えても、同一得票者を候補者に加えるものとする。

(2) 推薦投票の対象となる被投票者は、本要綱第 5 に規定する平成 17 年 3 月末日現在の確定選挙人名簿に登載された者とし、団体会員については、同名簿に登載された代表者とする。

(3) 推薦投票は、平成 19 年 5 月 21 日より同月末日までの間、書面投票をもって実施し、同年 6 月 20 日迄に推薦候補者を決定して委員会に報告するものとする。

(4) 推薦投票の管理は推薦委員会が行い、その実施に関し必要な事項については推薦委員会が定める。

(自薦による立候補者の届け出)

第 8 本要綱第 6 (2)による立候補者は、平成 19 年 4 月 10 日より同月末日までの間に、委員会の指定した事項を、指定した様式により委員会に届け出るものとする。

(候補者名簿ならびに投票用紙の配布)

第 9 委員会は、平成 19 年 5 月末日迄に、選挙人にたいし、次の各号の文書を取りまとめ、郵送により配布するものとする。

(1) 理事候補者名簿

(2) 投票用紙

(3) 投票用紙封入用内封筒

(4) 郵送用専用封筒

(5) 投票要領

(投票の実施)

第 10 投票は、前項(2)(3)(4)により、委員会宛郵送によって行い、その期間は、平成 19 年 6 月 1 日より 6 月 20 日までとし、消印有効とする。

投票は、規則第3条にもとづき、1人1票・無記名10名連記とし、10名以上記載した場合には無効票とし、10名以内に候補者以外の氏名を記載した場合、ならびに姓または名のみ記載した場合には、その記載のみ無効とする。

(選挙の開票)

第11 委員会は、6月末日迄に、前項による投票を開票し、有効投票の最多数を得た者から順次、定数を満たす当選人を決定する。

末尾同票数の者があった場合には抽選とし、その方法は委員会が決定する。

(選挙結果の報告)

第12 委員会は、前項による開票が終了次第、速やかにその選挙結果を学会の会長に報告するとともに、平成19年7月開催の理事会に報告し、その承認を受け、かつ成る可く速やかに学会通信により会員に周知するものとする。

(会長推薦理事の選出)

第13 規則第6条の規定にもとづき、推薦理事25名以内の選出は、選挙による理事が決定した期日に会長職にある者が、選挙による理事当選者を除いた正会員のうちよりの指名により行い、平成19年7月開催の理事会に報告し、その承認を受けるものとする。

(会員総会の承認)

第14 会長は、次期通常会員総会に於いて、委員会に理事選挙の結果を報告させるとともに、理事選出の結果を報告し、その承認を受けるものとする。

(要綱の運用等)

第15 この要綱に定めのない事項については、適宜、委員会で決定して運用し、委員会が必要と認めた事項については、適宜、理事会に諮るものとする。

(付則)

(1) この要綱の改正は、委員会の提案により理事会で行う。

(2) この要綱は、平成19年1月22日より施行し、第14による通常会員総会の承認をもって廃止する。

*参考 定款 第5章役員 第17条 理事数 50名以内

[理事選挙の実施基本日程]

日 程	実 施 内 容
(1) 平成19年1月22日	理事会で理事選挙実施要綱を決定
(2) 平成19年1月22日	理事会で理事選挙管理委員を選出
(3) 3月	理事会で選挙有資格者(同2月末現在)を確定
(4) 4月1日	選挙実施公示(学会通信2号にて掲載公示)
(5) 5月1日-20日	立候補受付、理事・評議員による理事候補者推薦投票
(6) 6月1日-20日	書面による理事選挙投票の実施
(7) 6月	選挙による理事の確定
(8) 7月	会長推薦による理事の確定(次期理事会の構成確定)
(9) 7月中旬-8月中旬	次期理事による次期会長の選出
(10) 9月	通常会員総会で次期理事選出の承認、監査人の承認
(11) 平成20年4月1日	次期理事会の発足

[理事選挙管理委員会構成]

(平成19年1月22日開催理事会承認事項)

	氏 名	選出区分	所 属
委員長	須藤 修	総務委員会	東京大学
委員(兼委員長代行)	富山 慶典	総務委員会	群馬大学
委員	小菅 敏夫	表彰委員会	デジナルハリウッド大学
委員	安藤 明之	企画委員会	東京経済大学
委員	岡田 勇	学術委員会	創価大学
委員	和泉 恵子	事務局	

日本社会情報学会(JASI) 第22回全国大会(JASI・JSIS 合同大会)開催要綱

第22回全国大会の開催要綱が、3月8日開催理事会において、下記の通り基本の開催内容が報告されました。

会員の皆様におかれましては、少し先のこととなりますが、今からご予約を賜りますようお願い申し上げます。合同大会でありますため、両学会の調整のため、以下のプログラムに若干の変更が生ずる場合があります。具体的な詳細については、「全国大会プログラム」でご案内します。(8月初旬)

- 【主催】 日本社会情報学会 (JASI)
日本社会情報学会 (JSIS)
- 【開催期日】 2007年9月8日(土)～10日(月)
・JASI 会員総会
- 【会場】 名古屋大学 東山地区
<http://www.nagoya-u.ac.jp/index3s-4.html>
- 【テーマ】 「社会情報学と教育」(仮題)

【開催要綱】

- * 1日目 [9月8日(土)](予定)
 - 開会セレモニー
 - 基調講演
 - 基調シンポジウム
 - 研究発表
 - 会員総会 *平成19年度学会賞表彰
 - 懇親会
- * 2日目 [9月9日(日)](予定)
 - 研究発表
 - 合同企画
 - その他
- * 3日目 [9月10日(月)](予定)
 - 自治体ワークショップ
 - その他
 - 大会総括・会長・次期開催校挨拶
 - 閉会

1. 日本社会情報学会合同企画委員会 (JASI)

- 会長 遠藤 薫 (学習院大学)
委員 岡田 勇 (創価大学) 五藤寿樹 (大学) 田中秀幸 (東京大学) 中井 豊 (芝浦工業大学)
山本佳世子 (電気通信大学)

2. 日本社会情報学会合同全国大会実行委員会

- 委員長 横井茂樹 (名古屋大学: JSIS)
副委員長 JSIS 安田孝美 (名古屋大学) 阿部圭一 (愛知工業大学)
委員 JASI 和泉 潤 (名古屋産業大学) 内山哲治 (名古屋産業大学)

- ### 3. 大会事務局 名古屋産業大学 和泉研究室内
- 〒461-0011 尾張旭市新居町3255-5
電話: 0561-55-5101 (代表)
0561-55-3011内線146 (直通)
FAX: 0561-52-0515
メール: jasi2007@nagoya-su.ac.jp

4. 参加費と懇親会費

(単位：円)	事前申し込み	当日申し込み	懇親会
一般会員	5,000	6,000	5,000
学生会員	2,000	2,500	3,000
非会員	7,000		5,000
非会員学生	2,500		3,000

* 事前申込期限は 8 月 17 日 (金)

* 郵便振替口座 日本社会情報学会全国大会事務局 (口座番号 00160-2-702417)

* プログラムと郵便払込票は 8 月初旬郵送予定です。

第 22 回全国大会研究発表募集のお知らせ

学術委員長 廣松 毅

第 22 回全国大会におきます研究発表を下記の要領により募集いたします。

研究発表は、1 件につき 30 分を予定しています。研究発表のテーマと致しましては、広く社会における情報に関する最先端の論題、高度情報社会、社会システム、政治システム、経済システム、行政システム、医療システム、教育システム、法体系、地域・自治体・生活社会の情報化、電子政府・電子投票・電子商取引・電子コミュニケーション、仮想社会・仮想組織、インターネット・イントラネット・エクストラネット、など自由にお考え下さい。

第 22 回全国大会におきます研究発表につきましては、**9 月下旬に研究発表賞選考委員会を開催し**、座長の方および大会参加者の方々の投票にもとづきまして、第 9 回研究発表賞の選考を行う予定に致しております。なお、第 8 回研究発表賞受賞者の方々のお名前、ご発表表題につきましては、本学会通信に掲載いたしておりますので、ご覧下さい。

多数の皆様方の発表をお待ちしております。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

日 時	: 2007年9月8日(土), 9日(日), 10日(月)
会 場	: 名古屋大学 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
案 内	: http://www.nagoya-u.ac.jp/index3s-4.html
発表申込締切	: 2007年5月18日(金)
論文集原稿締切	: 2007年6月30日(土)
大会事務局	: 第22回全国大会事務局

(1) 発表申込要領

1. e-mail で申込の場合

申込書ダウンロードサイト : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jasi/> (学会 HP)

申込書送付先 : jasi2007@nagoya-su.ac.jp

郵送申込の場合

別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、そのコピー 1 部 (計 2 部) とともに、返送先宛名を記入した官製ハガキ 1 枚 (採否結果通知用) を同封し、**下記宛**ご送付ください。

〒461-0011 尾張旭市新居町 3 2 5 5 - 5 名古屋産業大学 和泉研究室内
2007 年度社会情報学会全国大会事務局 行

【問合せ先】TEL 0561-55-5101 (代表) 0561-55 3011 内線 146 (直通)

E-mail : jasi2007@nagoya-su.ac.jp

2. 研究発表プログラム委員会による検討の後、発表の採否結果をお知らせいたします。なお、必着期限を過ぎた申し込みは、準備の都合上検討対象から除外させていただきますのでご了承ください。

(2) 研究発表論文原稿執筆要領

(a) 原稿作成について

1. A4 版、4 ページで図表を含みます (4 ページを越えた場合には、その分を削除させていただきますので、ご注意ください)。マージンは上端 25mm、下端および左右 20mm で作成してください。版組みなどは自由です。
2. 送付された原稿は B5 版に縮小し、写真製版します。
3. 原稿の 1 ページ目は、上から「和文題名、英文題名、発表者名・所属(和文)、発表者名・所属(英文)、英文アブストラクト(100 語以内)」の順でお願いいたします。なお、発表者が複数の場合、発表者名の頭に 印を付して下さい。

(b) 原稿の送付について

1. 必着期限(6 月 30 日)を過ぎた場合には、発表を棄権したものとみなします。
2. 原稿の電子ファイル (WORD ファイルまたは PDF ファイル) を下記電子メールアドレスへお送りください。原稿送付先電子メールアドレス : jasi2007@nagoya-su.ac.jp
3. 研究発表論文集に掲載された論文の著作権は、日本社会情報学会 (JASI) に帰属するものとします。

*** 5月18日(金) 必着**

日本社会情報学会
第22回全国大会研究発表申込書

発表申込者連絡先

会 員 名		
所 属		
住 所	(勤務先・自宅) 〒	
連 絡 先	TEL	FAX
	e-mail	

論題・発表者・発表用機器

論 題		
ふりがな 発表者氏名(所属) *当日の発表者に を付す	1	2
	3	4
使用機器(機器を使用する場合いずれかに を付す) 1. 液晶プロジェクタ(パソコン, 同付属のコネクタはご持参下さい) 2. その他(上記以外の機器をご使用希望の場合には, 大会事務局にご相談下さい)		

要 旨 (200字以内・なるべく手きはお避け下さい)

*キーワード(5つ程度、必ず記入)

平成19年度・学会賞候補推薦について

平成19年度・学会各賞の推薦公募を別記内容にて行います。
各表彰候補の推薦をお願い申し上げます。

日本社会情報学会表彰委員会
委員長 小菅 敏夫

< 表彰候補者の推薦締め切り >

種 類	締 切 日
大学院学位論文賞	19年4月13日(金)
優秀文献賞	19年5月25日(金)
優秀論文賞	同 上
論文奨励賞	同 上
学会功労賞	19年6月29日(金)
社会情報システム貢献賞	同 上
*「秋山穰賞」	

*「秋山穰賞」については、別途実施要綱による選考とする。

今年度は、別記の通り、総会・全国大会の開催日が9月8,9,10日に
予定されていますので、各賞推薦の締切日が早まっていますのでご留意
下さい。

[功労選考委員会]

選考区分：
・学会功労賞
・社会情報システム貢献賞

[文献論文選考委員会]

選考区分：
・優秀文献賞
・優秀論文賞
・論文奨励賞
・大学院学位論文賞
・研究発表賞

各推薦書は、コピー（A4に拡大）してご利用下さい。
また、本学会通信は、ホームページへ掲載しますので、各表彰
候補推薦書は、ダウンロードして利用出来ます。

平成18年12月1日
* 18/12/1発行学会通信の再掲

日本社会情報学会

第10回大学院学位論文表彰候補者の推薦のお願い

日本社会情報学会
会長 遠藤 薫

この度、日本社会情報学会では、表彰規則第2条第1項(5)に定める大学院学位論文賞につき、下記により、平成18年4月1日～平成19年3月31日までの期間におきます学位取得者の大学院学位論文につきまして表彰候補者のご推薦をお願いいたします。なお、本賞につきましては、社会情報学関連大学院ご担当の先生方にも、正会員となつていただくことを条件に、ご推薦の依頼を致しております。

なお、表彰区分は、日本社会情報学会大学院学位論文賞選考要領にもとづき、以下の通りといたします。

(1) 修士論文・・・大学院学位論文賞(修士)

(2) 課程博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

(3) 論文博士論文・・・大学院学位論文賞(博士)

また、受賞者には、全国研究発表大会総会において、賞状を授与いたしますとともに、学会通信には、受賞者名、論文題目を、日本社会情報学会誌には、受賞者名、論文題目、学位論文要旨を、それぞれ掲載いたします。

記

1. 受付期限 平成19年4月13日(金)*必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 文献論文選考委員会
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一部
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 添付書類 学位論文四編(論文のコピーで結構です)
同学位審査要旨四通
(修士論文につき1000字程度、博士論文につき2000字程度)
5. 推薦者資格 本学会正会員(入会手続中の方も、ご推薦戴くことができます。
この場合、理事会での入会承認を条件として、正会員のお取り扱いを致します。)

以上

平成 年 月 日

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による大学院学位論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____

[学位取得者氏名] _____

[学位授与研究科・専攻名] _____
大学 _____ 研究科
専攻

[推薦区分] () 内に○印を付してお示し下さい。
() 修士論文 () 課程博士論文 () 論文博士論文

[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成19年4月1日

日本社会情報学会 優秀文献賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(2)優秀文献賞につき、下記により、表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。なお、優秀文献賞は、本学会正会員の公表した著書、翻訳書等で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な文献に贈られる賞となっております。また、対象となる文献の公表時期は、平成14年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 平成19年5月25日(金)必着
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 遠藤 薫
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一文献
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます。)
4. 推薦者資格 本学会正会員

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀文献賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による優秀文献賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦文献名] _____
出版社等名称 : _____
発行年月日 : _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

平成18年4月1日

日本社会情報学会 優秀論文賞・論文奨励賞 表彰候補者推薦のお願い

日本社会情報学表彰委員会
文献論文選考委員会

この度、表彰規則の改正に伴い、表彰規則第2条(3)優秀論文賞、(4)論文奨励賞につき、下記により、それぞれの表彰候補者をご推薦下さいますようお願い致します。

なお、優秀論文賞は、本学会正会員が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞であり、論文奨励賞は、本学会正会員である新進の研究者が公表した論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる優秀な論文に贈られる賞となっております。また、対象となる論文の公表時期は、平成18年10月1日以降と致します。

記

1. 受付期限 **平成19年5月25日(金)必着**
2. 推薦先 日本社会情報学会 会長 遠藤 薫
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062
3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、一件一編
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 添付書類 推薦論文三通。(論文の抜き刷りないしコピーで結構です)
5. 推薦者資格 本学会正会員。

以上

平成 年 月 日

日本社会情報学会
優秀論文賞表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則による優秀論文賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 巻 , 第 _____ 号 , _____ ~ _____ ページ
[推薦事由] _____

受付 : 平成 年 月 日

受付者氏名 :

平成 年 月 日

日本社会情報学会
論文奨励賞表彰候補推薦書

下記の通り，日本社会情報学会表彰規則による論文奨励賞の表彰候補を推薦いたします。

[推薦者] (氏名) _____ 印
(所属) _____
(連絡先住所) 〒 _____

TEL : _____ FAX : _____
E-mail : _____

記

[推薦論文名] _____
[表彰候補者名] _____
所属 : _____
[論文掲載誌名] _____
発行学会等名称 _____
第 _____ 巻，第 _____ 号， _____ ~ _____ ページ
[推薦事由]

受付：平成 年 月 日

受付者氏名：

日本社会情報学会・学会表彰候補者の推薦お願い [学会功労賞][社会情報システム貢献賞]

平成19年4月1日

日本社会情報学会表彰委員会
功労選考委員会

下記により、日本社会情報学会の平成17年度・標記表彰候補の推薦をお願い致します。

1. 受付期限 **平成19年6月29日(金)必着**
2. 推薦先 **日本社会情報学会 会長 遠藤 薫**

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザ408
日本社会情報学会事務局
TEL/ FAX 0422-40-2062

3. 推薦形式 学会指定の推薦用紙にて、1件1部。
(ただし、必要事項を記載した書面であれば受け付けます)
4. 推薦者資格 本学会正会員。

なお、学会表彰の区分及び対象は、日本社会情報学会表彰規則第2条に基づき以下の通りとする。

- (1) 学会功労賞
本学会の発展に著しく功労のあった者。
- (2) 社会情報システム貢献賞
本学会の大会、研究会、学会誌で公表した研究もしくは発表で、社会情報システムの発展に特に貢献したと認められる個人または団体。

表彰候補推薦書

下記の通り、日本社会情報学会表彰規則により表彰の候補を推薦致します。

[推薦者]

(ふりがな) 氏 名	
連絡先住所	〒 TEL () FAX () E-mail :

記

[推薦候補者または推薦候補団体の名称] * 多人数の場合は、その代表者名。

[表彰区分] * 該当区分の に√を付す。

学会功労賞

社会情報システム貢献賞

[表彰対象事項]

[表彰事由]

< 添付資料 >

受付： 年 月 日	受付者氏名：
-----------	--------

☆ 理事会報告 ☆

【第1回理事会報告】

日時 平成18年11月13日（月）18:00-20:00

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 9名 遠藤、廣松、前田、田村、平野、尾関、五藤、安藤、和泉

議事

1. 平成19年度役員・各委員会の構成について
2. 平成19年度各委員会の運営および事業計画について
3. 平成18年度収支決算報告
4. 平成18年度特別会計報告
5. 新会員の入会承認
6. 全国大会の報告
7. その他学会運営に関する事項

議事内容

1. 資料にもとづき、19年度総務委員会事業計画、会員内訳、会費収支が報告された。
2. 資料にもとづき、廣松学術委員長より、19年度学術委員会事業計画、第8回学術委員会が報告された。部会については、現時点1部会であることが報告された。
3. 安藤理事より、19年度企画委員会事業計画が報告された。
4. 資料にもとづき、前田常任理事より、19年度情報政策研究会事業計画が報告された。50回記念の研究会を検討していくこととなった。
5. 資料にもとづき、遠藤会長より、19年度表彰委員会事業計画が報告された。
6. 田村監査より、18年度収支決算報告があり、承認された。
7. 資料にもとづき、19年度予算が承認された。
8. 資料にもとづき、18年度特別会計収支決算が承認された。
9. 資料にもとづき、入会会員8名が承認された。
10. 資料にもとづき、遠藤会長より第21回全国大会収支における経過報告があった。
11. 遠藤会長より、次回全国大会については、名古屋大学での開催、実行委員会については中部支部にお願いしていることが報告された。
12. 回覧資料にもとづき、横幹連合2006年度リーフレット用学会キャッチフレーズについて意見交換があった。
13. 19年度理事選挙については、原則例年どおりのスケジュールで行い、選挙管理委員長は須藤総務委員長となった。選挙管理委員については、次回理事会までに各委員会より1名選出することとした。

【第2回理事会報告】

日時 平成19年1月22日（月）10:00-11:30

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 7名 遠藤、茶谷、五藤、中井、平野、安藤、和泉

議事

1. 委員会報告
2. 理事選挙について
3. 全国大会について
4. その他

議事内容

1. 資料にもとづき、第1回議事録を承認した。
2. 資料にもとづき、会員内訳、会費回収の説明があった。
3. 資料にもとづき、入会2名と1社、退会9名を承認した。

- 4 資料にもとづき、茶谷理事より情報政策研究会の報告があった。
団体会員減少については、ニーズ収集のためのアンケートを実施することとした。
各委員会と情報政策研究会から10の設問を提示し、取りまとめは企画委員会が行う。
また検討内容として、以下の意見があった。
 - ・学会として情報政策への提言を行う
 - ・非団体会員への研究会無料参加の実施企画委員会傘下の情報政策研究会の位置づけを再確認し、連携した活動内容における協議を継続して行うこととした。50回記念行事については、懇親会等を考慮した会場選定を行うことを検討。
- 5 資料にもとづき、平成18年度科学研究費補助金実施報告書の説明があった。
- 6 資料にもとづき、五藤理事より学術委員会報告があった。
環境・教育・GIS研究部会（太田敏澄主査）の設立が承認された。
学会誌の編集を1月と7月に変更し、発刊が2月、8月となることが報告された。
全国大会のテーブルおこし代金67,200円を特別会計全国大会から支出することが承認された。
- 7 資料にもとづき、平成19年度・理事選出実施要綱が承認された。
選挙管理委員会構成として、須藤修委員長、富山総務委員（兼委員長代行）、岡田学術委員、安藤企画委員、小菅表彰委員、和泉（事務局）の6名を承認した。
選挙にともなう会員名簿作成における特別会員の選出については、情報政策研究会へ依頼することとした。
- 8 遠藤会長より全国大会について報告があった。
JSISより日程について、当初の11月から9月8日（土）-10日（月）に早まる案が提示されたことについて、それを承認した。
現地実行委員会は中部支部、実行委員会については学術委員会より、以下のメンバー6名とすることを承認した。（敬称略）遠藤、五藤、中井、田中（秀幸）、岡田、山本（佳代子）
次回は3月8日（木）10時 学習院大学

【第3回理事会報告】

日時 平成19年2月5日（月）17:00-19:30

会場 学習院大学東2号館8階第1会議室

出席者 9名（順不同）遠藤、廣松、須藤、中井、根本、安藤、五藤、太田、和泉

議事

1. 会員資格について
2. 英語論文誌について
3. 合同大会について
4. その他

議事内容

- 1 資料にもとづき、第2回理事会議事録を承認した。
- 2 五藤理事より、英文学会誌発行について報告があった。
印刷は50部程度とし、オンラインジャーナルとする。
根本理事より、広報に関して経済学会連合のケースに関する紹介があった。
- 3 遠藤会長より、合同大会について報告があった。
統一テーマについては、後日、メールで提案することとした。
- 4 資料にもとづき、五藤理事より当該論文に関する経緯および検討における中間報告があった。
当該論文に関する質問状をF会員へ本日送付したことが報告された。
F会員における会員資格について協議した結果、質問状において盗用を容認する回答があった場合、あるいは明確な回答を得ない場合、72時間以内に回答がない場合には、除名に処すことを決定した。
学会誌17巻2号については、当該論文を削除、刷りなおしをすることが承認された。
次回は3月8日（木）10時 学習院大学

研究会報告

[第48回情報政策研究会]

日 時 平成18年12月4日(木) 15:00~17:00
会 場 全国町村会館
テーマ これからの地域情報化
講 師 植松浩二 総務省情報通信政策局地方情報化推進室長

[平成19年度 情報交流会]

日 時 平成18年12月4日(月) 17:00~19:00
会 場 全国町村会館

[特別企画 国際シンポジウム]

文部科学省平成18年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)

テーマ 「コミュニティ資源の形成とICT-意思としてのコミュニティ形成-」

日 時 平成18年12月23日(土) 14:00-17:00

会 場 東京国際フォーラム

講 演 スティーブ・ジョンソン(米国ポートランド州立大学)

シンポジウム

パネリスト スティーブ・ジョンソン、岡部一明(東邦学園大学)、福田豊(電気通信大学)

コーディネーター 須藤修(東京大学)

委員会報告

[学術委員会]

第1回学術委員会

<日時>平成18年10月31日(火) 19:00~19:20
<会場>東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室
<出席者> 安藤明之(東経大)、岡田勇(創価大)
木村忠正(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、佐藤佳弘(武蔵野大)、
中井豊(芝浦工大)
<議事>
1. 前回議事録の承認
2. 研究部会「情報社会経済システム」(継続)の確認
3. J-STAGE 関連
4. 来年度科研申請
5. その他

第2回学術委員会

<日時>平成19年1月15日(月) 18:00~18:30
<会場>東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室
<出席者> 安藤明之(東経大)、岡田勇(創価大)、廣松毅(東大)
木村忠正(東大)、五藤寿樹(日本橋大)、佐藤佳弘(武蔵野大)、
中井豊(芝浦工大)、田中秀幸(東大)、桜井成一郎(明治学院)
<議事>
1. 前回議事録の承認
2. 学会ホームページ

3. 研究部会
4. 選挙管理委員の選出について
5. その他

第3回学術委員会（メールベース）

<日時> 平成19年2月1日

学術委員会運営細則第6条に基づき、論文検討専門委員会を設置。

第4回学術委員会

<日時> 平成19年3月2日（金）15:00~17:00

<会場> 東京大学駒場キャンパス2号館3階306号室

<出席者> 安藤明之（東経大）、廣松毅（東大）、木村忠正（東大）、
五藤寿樹（日本橋大）、中井豊（芝浦工大）、田中秀幸（東大）、
桜井成一郎（明治学院）、太田敏澄（電通大）、山本佳世子（電通大）、
遠藤薫（学習院大） [敬称略]

<議事>

1. 第2回議事録の承認
2. 第3回（メールベース）議事の確認
3. 論文に関する検討専門委員会及び過去の表彰等の取り扱いについて
4. 第22回大会について
5. 学会ホームページについて
6. 学術図書について
7. その他
(ア) 部会設立
(イ) アンケート実施

[企画委員会]

第1回企画委員会

日時 3月5日（月）18:30-20:00

会場 電気通信大学

出席者 4名 福田豊（電通大）、佐藤佳宏（武蔵野大）、税所哲郎（関東学院大）、
安藤明之（東京経済大）

1. 平成18年度活動の総括
2. 平成19年度定例研究会企画運営方針について
3. 研究会運営担当について
4. 団体会員向けアンケート設問のとりまとめ
5. その他

[情報政策研究会]

第1回情報政策研究会

日時 2007.1.19（金）16:00~18:00

場所 三鷹産業プラザ「コミュニティビジネスサロン」

参加 前田隆正、茶谷達雄、山本秀男、尾関敬二、吉井史郎、梅原寿夫、佐藤文一、平林幹朗
（8名）

「検討内容」

1. 課題の確認と対応
1) 団体会員の減少による研究会参加者減少

：研究会のテーマ（時流に則ったテーマ）

- 2) テーマ設定
- 3) 開催回数
2. 当面の開催案
3. 次回の検討会開催 4月度予定

第13回社会情報システム学シンポジウム開催報告

環境・教育・GIS研究部会 主査 太田敏澄（電気通信大学）
幹事 諏訪博彦（電気通信大学）

日本社会情報学会（JASI）「環境・教育・GIS」研究部会では、第13回社会情報システム学シンポジウムを、社会情報システム学研究会の主催、経営情報学会（JASMIN）「社会情報と情報組織化」研究部会、電気通信大学 Social Informatics（社会情報学）研究ステーションとの共催にて、2007年1月26日（金）に電気通信大学情報システム学研究科棟にて開催致しました。

このシンポジウムは、ユビキタス時代の社会情報システムのシナリオを描くべく、人文・社会科学的情報概念と自然科学的情報概念の統合を企図し、高度でかつ幅広い議論ができますことを願って開催致しております。お陰様をもちまして、58名の方々のご参加を戴き、盛会のうちに開催することができましたことに、深く感謝致しております。

来年同時期には、第14回のシンポジウムを企画する予定に致しておりますので、ご研究発表をはじめ、ご関心のある多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

第13回のシンポジウムでは、特別講演として、「情報社会の複数性(plurality of information societies)～e-Citizenshipの概念から～」(木村忠正氏、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部助教授)のご講演を戴きました。

このご講演は、情報社会の複数性を資本主義の複数性との対比で分かりやすく展開して下さるとともに、欧州の事例で歴史的文化的社会的特性との関連性を示して下さい、その雄大な構図、および情報社会についての理解を深めることができた貴重なご講演であり、今後この領域の研究を展開する上で大変有意義なご講演でありました。

さらに、公募による一般セッション講演では、21件のご研究発表がありました。一般セッションでのご講演は、

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| [1] 環境 1 | [2] キャリア教育 | [3] システム運用 |
| [4] 分析と課題 | [5] 理論と方法 | [6] 環境 2 |

の6つのセッションにより行われました。

いずれのご講演も、時代の要請にもとづいた実践的、概念的ないし操作的なご研究の成果を披瀝して戴いたご講演であり、この領域の研究がますます盛んになることを確信することができました。

なお、一般セッションでのご講演の題目につきましては、社会情報システム学研究会のホームページ<http://www.ohta.is.uec.ac.jp/ISS/>に、これまでの回のご講演題目を含めて掲載致しておりますので、ご覧戴けますよう宜しくお願い致します。また、学術講演論文集に掲載された論文の和文概要ないし英文概要は、科学技術振興機構のデータベース（JDreamのJSTPlus）に登録しておりますので、ご参照下さい。

また、学術講演論文集に余裕がございますので、ご希望の方に、実費¥1,000にて頒布致します。お申し込みは、第13回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集購入ご希望の旨、ご送付先住所、お名前、telまたはfax番号を添え、e-mail: ohta@is.uec.ac.jpまたはfax: 042-443-5660太田敏澄宛に、お願い致します。代金につきましては、郵便振込口座番号 00150-2-539320 社会情報システム学研究会宛に、学術講演論文集到着後、お振り込み下さいますようお願い致します。

部数に限りがございますので、先着順にてご容赦下さい。

<お問い合わせ先> 社会情報システム学研究会事務局 研究会代表 太田敏澄
FAX&TEL: 042-443-5660, e-mail: ohta@is.uec.ac.jp
電気通信大学 大学院情報システム学研究科
社会知能情報学専攻社会情報システム学講座
URL: <http://www.ohta.is.uec.ac.jp/>

訂正のお願い

12月1日発行学会通信 22-1 におきまして誤りがございました。
お詫び申し上げます。
9 ページ 6 行目を下記のとおり訂正をお願い申し上げます。
(誤) II-8 情報・ガバナンス部会 2 (西 2-406) 氷鮑揚四郎
(正) II-8 情報・ガバナンス部会 2 (西 2-406) 佐藤 佳弘

事務局たより

* 会費納入のお願い

今年度および過年度の会費が未納の会員の方へ、再度、ご確認の上、ご納入のほどお願い申し上げます。

ご承知のように、本学会の運営は、会費収入で行われております。会費収入が滞りますと、事業運営に多大な影響を及ぼします。

未納会費請求につきましては、現在、年 4 回の請求 (10 月、12 月、4 月、8 月) をさせていただいておりますが、未納の場合、会員規則第 4 条に従いまして、1 年未納の場合会員サービス停止、2 年未納の場合は除名となる場合があります。主旨ご理解の上、重ねてよろしくお願い申し上げます。

* 通信費削減への協力をお願い

各種ご通知・ご案内を封書にてさせて戴いておりますが、少しでも通信費予算を削減し、より充実した研究会・学会誌等に充当致したく、メールでのご案内を考えております。

主旨ご理解の上、メールでの各種案内が可能な会員の方々のご協力をお願い致します。ご承諾戴ける会員の方は、別紙「メール案内承諾書」にてご返信のほどお願い致します。

平成 17 年度より事務局体制が変わりました。常駐はなく、月曜日を含む週 2 日ほどです。メールでの対応はその限りではありません。

会員皆様からの学会の運営・事業・組織拡充に対するご意見、ご助言を戴きたくお願い申し上げます。

宛先 FAX 0422-40-2062 E-mail jasi@jade.dti.ne.jp